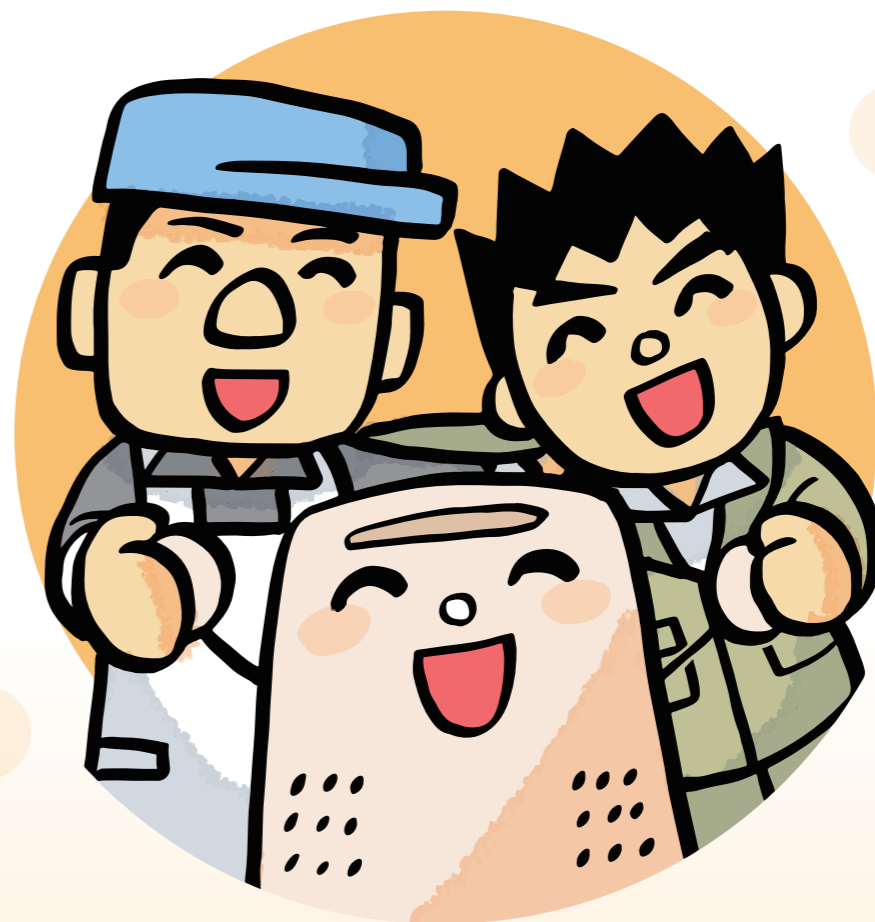


“人に笑顔”プロジェクト



～ 給湯器がつくるもう1つの笑顔～

給湯器リサイクル事業が
パラパラマンガでわかる!



<http://www.s-hearts.jp/support/smile.html>

上記のURL、QRコードからサイトにアクセス。
「給湯器がつくるもう1つの笑顔」の▶で
パラパラマンガが始まります。

■お問い合わせ

株式会社 リハーツ

本社事業所 〒674-0082 兵庫県明石市魚住町中尾831 TEL 078-947-7600
関東事業所 〒336-0965 埼玉県さいたま市緑区間宮922 TEL 048-812-6014
東北事業所 〒981-3121 宮城県仙台市泉区上谷刈1-7-26 TEL 022-771-6067



<http://www.s-hearts.jp>
エスコアハーツのホームページで
詳しい情報がご覧いただけます。

株式会社 ノーリツ
株式会社 エスコアハーツ
株式会社 リハーツ





障がい者自立支援と給湯器リサイクルの両立。

ノーリツグループ社会貢献活動 “人に笑顔”プロジェクト

日本の障がい者数は936万人（身体障がい者436万人、知的障がい者108万人、精神障害者392万人）と言われており、これは国民の約7.4%に当たります。

就労機会に恵まれず、就労支援施設で働く障がい者など常用雇用以外の就労者が経済的に厳しい状況に置かれています。

“人に笑顔”プロジェクトは障がい者の社会参加に向けた自立支援活動です。このプロジェクトでノーリツグループは2009年より給湯器リサイクル事業をスタートさせました。この事業は使用済みの給湯器の回収、分解、分別を行い、銅や鉄などの素材を資源としてリサイクルする事業です。その後、この事業は「障がい者雇用」だけでなく、福祉事業者様、販売事業者様とタイアップし、「障がい者福祉施設への仕事提供」「障がい者への就労支援」まで進化しています。

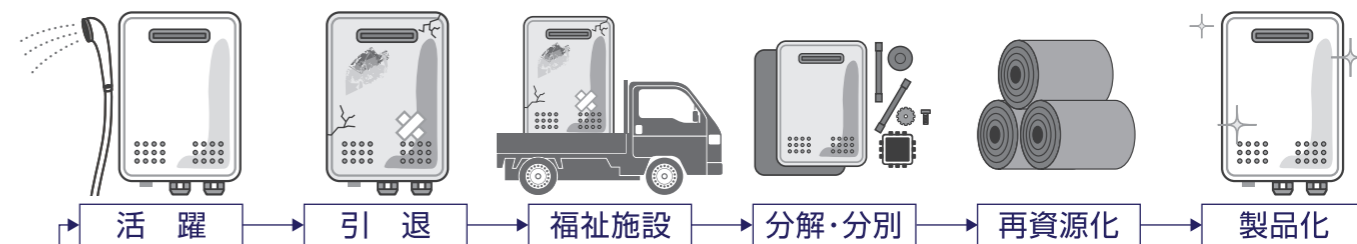
ノーリツグループの障がい者雇用率は
約3.15%※
※国内グループ会社20社合計
（2018年6月現在）

“人に笑顔”プロジェクトは障がい者の工賃アップと就労機会を創出します。2018年度、リハーツでは全国17福祉事業者様と業務提携し、42,000台、6,200万円の業務委託費をお支払させて頂きました。



給湯器リサイクルの流れ

障がい者の就労機会の創出・国内資源循環



株式会社リハーツと契約された全国の販売店から、廃給湯器を回収し、業務提携先の福祉施設へお届けした物を、素材別に分解頂き、国内素材メーカーへ売却します。そのお金を、福祉事業者様へ分解工賃としてお支払いすることで、障がい者の工賃UPと就労機会創出に繋げております。

国内でのリサイクルが必須です

特定有害廃棄物等の輸出入等の規制に関する法律【バーゼル法】

近年、リサイクル目的の国際取引が世界的に増大。輸出入件数も大幅に増加し、輸出先での環境上不適正な取扱い事案が発生しています。2018年10月1日に改正されたバーゼル法では規制対

象物として、給湯器も追加され、有害廃棄物等は輸出入禁止となりました。リハーツでは安全で確実な国内での資源リサイクルを行うことで地球環境にも貢献していきます。

“働くこと”の本質と向き合う「大切な教材」として



障害福祉サービス事業あかね園
施設長
松尾 公平 さん



あかね園は設立から30余年、長く安心して地域で“働き”“暮らす”という理念のもと、これまでに約500名の方達を企業へ送り出してきました。

障がいがあっても社会に出て地域や企業で“受け入れられる”だけでなく“頼られる存在”となるには、第一に「生活力」そして、どんな職場、職種でも求められる基本的な「働く姿勢づくり」が大切となります。

そんなあかね園の取り組みにとって、多くの「学び」の要素を有する“人に笑顔プロジェクト”の廃給湯器の分解作業は、欠かすことのできない貴重な教材です。

- ①適切な工具の使用等を通して学ぶ「安全への意識」。
- ②使用した道具を所定の場所で管理する「整理整頓」の習慣。
- ③声をかけ合い、給湯器の移動や運搬で身につく「協調性や筋力」。
- ④解体作業を通して身につく「こうち性や手指の力」。
- ⑤数多くの部品選別で培われる「確実性」
- ⑥作業の合間の「報告、連絡、相談」。

等々…

近年、園に通う多くの利用者達は社会で働いた経験のない10代の若者達です。

年々世の中が便利になることに併せ、多くのサポートを受けながら育ってきた彼らは、本来はたくましく、多くの力を潜在的に有しているにも関わらず、重い荷物の運搬、カッター等の使用、掃除用具の使い方等、ひとつひとつが初めてのことばかりです。

あかね園ではそんな利用者達に「自分のことは自分で考え、行動する」ことを求め、一日約6時間の「働くこと（廃給湯器の解体）」を通じて様々な経験、体験を重ねていきます。

このプロジェクトをあかね園が請負い2年が経過しました。先日、“人に笑顔プロジェクト”の初代メンバーの企業への採用が決まりました。

最初は「わかりません」「できません」とすぐにあきらめていた姿も今では懐かしく、心身共にたくましくなり自信に満ちた顔であかね園を巣立っていきました。

また、思いがけない嬉しい事もありました。この給湯器の分解作業に魅了された地域のボランティアの方々が連日、足を運び利用者と共に汗を流して下さるようになりました。地域の方々と共に働く経験は利用者にとっての良い刺激でもあり、障がい（者）の事を知って頂く貴重な機会でもあります。

こうした“人に笑顔プロジェクト”があかね園と地域との“橋渡し”をして頂いたご縁を利用者職員一同、大切にしながら今日も工場では心地よい工具の音と利用者達の活気のある掛け声（「お願いします！」「ありがとうございます！」「後ろ通ります！」）が響いています。

最後に、この“人に笑顔プロジェクト”（障がい者自立支援事業）の輪が全国の福祉施設へ広がり、障がい者の工賃アップと給湯器の国内リサイクル（資源の有効活用）に繋がれば、と切に願っております。

現在17ヶ所の福祉事業者様と業務提携しています

2018年10月現在

・兵庫県(5施設)・大阪府(1施設)・香川県(1施設)・宮城県(2施設)・岩手県(1施設)・神奈川県(1施設)・千葉県(2施設)・愛知県(1施設)・埼玉県(2施設)・東京都(1施設)